
環 境



みみずのかーく
シェーファー先生の自然の学校
今泉みね子／著
中村鈴子／画
合同出版 1999年 1300円

ある日、校長のシェーファー先生に連れられて「みみずのかーく」が教室にやってきました。今ではこの学校にはゴミ箱が一つしかありません。ドイツの片田舎で自然から学ぶ環境学習の取り組みをした小学校の話です。



生きものをはぐくむ棚田の米づくり
(守ってのこそう！いのちつながる日本の自然 2)
孝森まさひで／写真・文

童心社 2008年 2900円

棚田に興味を持った著者が撮影した、米作りの様子やそこで生活する生き物、植物などの一年間の記録です。棚田は自然のダムであり、水を浄化するフィルターの役割も持っていたのです。



海は生きている (自然と人間)
富山和子／著

講談社 2009年 1400円 ★シリーズ全5巻

私たちが生きていくに大切な水。それは、海水が蒸発して雲になり、雨や雪になって地上に落ちてきたものです。海の水は循環しているのです。あらゆる生命のやしない手である海と、日本人との長い付き合いの歴史が、陸地との関係を中心に語られています。「自然と人間」シリーズの完結編です。

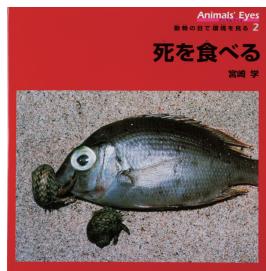


漁師さんの森づくり 森は海の恋人

畠山重篤／著
カナヨ・スギヤマ／絵

講談社 2000年 1200円

気仙沼湾でカキの養殖をしている漁師さんたちが、海から遠く離れた山に、なぜ木を植えはじめたのでしょうか。植物プランクトンや海藻には、森から流れ出る水が必要だったのです。



死を食べる

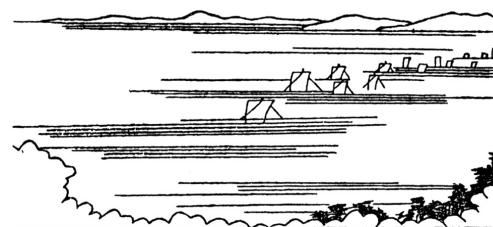
(アニマルアイズ 動物の目で環境を見る 2)
宮崎学／著

偕成社 2002年 1800円 ★シリーズ全5巻

あらゆる生物は必ず死にます。死は食べられることで、他の生き物の命をつなぎます。動物写真家宮崎学の「アニマルアイズ・野生動物の目で環境問題を見る」シリーズの一冊です。

(参考図書)
『ごちそう砦』(アニマルアイズ 動物の目で環境を見る 1)
『においの地図』(アニマルアイズ 動物の目で環境を見る 5)
宮崎学／著
偕成社 2002年 各1800円

の 入江
図づ 船は川へ



『訓蒙窮理圖解』 第四章「風の事」より



『訓蒙窮理図解』 第一章「湿気の事」より